

11 月 3 日まで

「写真家 小池汪氏 (1933-2023) 追悼展示」開催中！



長年にわたって戦争の傷跡や川崎の歴史についてのルポルタージュ作品を発表し続け、当館も開館する前から学内遺跡や数多くの遺物の写真撮影と記録の保存などでたいへんにお世話になった、写真家・小池汪さんが2023年7月に89歳でお



小池氏が撮影した動物慰霊碑

跡や石の質感が伝わってきます。この「動物慰霊碑」の写真は、夜間に照明を設置して撮影したもので、まさにプロフェッショナルな写真家としての小池さんの技量とセンスがいかに発揮されたものになっています。

また当館では、解体された旧登戸研究所にせ札製造関連の木造建物の解体過程と部材

亡くなりになりました。

私たちは、現物にまさる記録・資料はない、と思いがちですが、小池さんの撮影した写真には現物と同等の、あるいはそれにまさる資料的価値があります。これは大袈裟な言い方ではありません。当館にご来館された際には第三展示室の「動物慰霊碑」の写真をご覧ください。小池さんが撮影された写真資料の素晴らしさが実感できます。現物を肉眼で観察していただければわからなかった、石碑の文字の細部に至る彫り

の写真を小池さんに撮影していただいております、これらのデータも登戸研究所をこれからも多くの人に伝えるための貴重な「かたりべ」となっています。

このたび、花林有限会社 小池汪写真管理室さまのご協力のもと、小池汪さんの業績の一部を展示させていただき、小池さんへの心からの感謝の念を新たにするとともに、小池さんのご冥福をお祈り申し上げます。

(山田記)

11 月 20 日～2025 年 5 月 31 日

第 15 回 企画展「風船爆弾作戦と本土決戦準備 —女の子たちの戦争—」開催！



風船爆弾製造に動員された群馬県の女生

太平洋戦争末期、対アメリカ決戦兵器として開発された「風船爆弾」の打ち上げが登戸研究所の指揮の下、開始されました。それから 80 年を迎える今年度は「決戦兵器」としての風船爆弾の意味合いを再度検討します。それとともに女の子たちと戦争についても焦点を当てます。風船

爆弾の製造には全国の女学生が大勢動員されました。その中には昼夜を問わない長時間労働で体調を崩し、亡くなった方もいます。本来は守られなければならない子どもたちを大規模に動員することがどうして可能になったのか、この点についても考えていきます。

1945 年 4 月に風船爆弾作戦が終了すると、登戸研究所は本土決戦準備に本格的に取り掛かることとなります。長野県へ移転した後は、米軍の本土上陸に備え、ゲリラ攻撃用の爆弾を主に製造します。この生産にも

爆弾用気球紙の破片の断面を 150 倍に拡大したものです。枝状のものが和紙の繊維です。こんにやくをしっかりと支えるために繊維が太く長い楮和紙が最適であるとされました。そして被膜を作り上げ気球紙の大部分を構成しているのがこんにやくです。こうやって拡大してみるとむしろ「紙」気球というより

も「こんにやく」気球と言ってもいいのかもしれませんね。(塚本記)

(注 1) 詳しくは小林良夫「太平洋戦争時登戸研究所の秘密戦兵器開発に対して製紙業界が行った生産協力—企画展『戦争と紙』に因んで—」(明治大学平和教育登戸研究所資料館『明治大学平和教育登戸研究所資料館 館報』第 1 号, 2016 年所収) pp.31-32 参照のこと。(注 2) 武内孝夫『こんにやくの中の日本史』(講談社現代新書, 2006 年) p.120。

資料館からのご案内

■ リバティアカデミーオープン講座 / 第 15 回

企画展 講演会「風船爆弾作戦と本土決戦準備 —80 年前の登戸研究所—」

今回初めて明治大学リバティアカデミーと共催で企画展講演会を開催いたします!

今から 80 年前の 1944 (昭和 19) 年から 1945 年に、登戸研究所は、風船爆弾の開発・製造に全力を挙げていました。陸軍は、この兵器を戦争の勝敗を決する「決戦兵器」と位置付け、アメリカ合衆国本国に大打撃を与えられるものと考えていました。1944 年 11 月から 1945 年 4 月にかけて 9300 発が発射された風船爆弾がどのように準備され、どのような結末であったのかを明らかにします。また、同時期に日本陸軍と登戸研究所が準備を進めていた本土決戦に際してどのような戦いをしようとしていたのか、残された資料から検証します。

〈講演会概要〉

開催日時: 2024 年 12 月 14 日 (土)

13:00 ~ 15:30 ※開場 12:30

会場: 明治大学生田キャンパス中央校舎 6 階メディアホールおよびオンライン (Zoom ウェビナー)

講師: 館長 山田朗 (明治大学平和教育登戸研究所資料館館長, 明治大学文学部教授)

定員: 【会場】270 名, 【オンライン】400 名

※いずれもリバティアカデミーへ要事前予約

参加申し込み方法: 下記 URL もしくは QR コードよりお申し込みください。

申し込み締切: 12 月 13 日 (金) AM10:00

会場 <https://academy.meiji.jp/course/detail/7168>

オンライン <https://academy.meiji.jp/course/detail/7169>

会場申込
QR コード



オンライン
申込
QR コード



■ 企画展展示解説

内容: 館長 山田朗が参加者と展示を巡りながら企画展の見どころを解説します。

開催日時: 2025 年 2 月 1 日 (土), 3 月 8 日 (土), 5 月 10 日 (土)

各日 13:00 ~ 14:00 (全 3 回開催)

定員: 20 名 (申し込み先着順)

申し込み方法: 開催日 2 日前までに①参加希望日, ②参加人数, ③代表者連絡先を添えて下記お問い合わせ先か右上 QR コードよりお申し込みください

※メールの場合はタイトルを「企画展展示解説申込」としてください。

※ QR コードは (株) デンソーウェーブの登録商標です。



編集・発行: 明治大学平和教育登戸研究所資料館

発行日: 2024 年 9 月 25 日

〒214-8571 神奈川県川崎市多摩区東三田 1-1-1

明治大学生田キャンパス

TEL/FAX: 044-934-7993 ✉ noborito@mics.meiji.ac.jp

Web サイト <http://www.meiji.ac.jp/noborito/index.html>

X 旧 Twitter @meiji_noborito

facebook <https://www.facebook.com/people/>

明治大学平和教育登戸研究所資料館 /100077822204861/

Instagram @meiji_noborito

2024 年 9 月 21 日現在の累計来館者数は 95,368 名です